

創作絵本（１～３年生向き）

あかちゃんぐまはなにみたの？		岩波書店	2013
アシュリー・ウルフ 文・絵 さくまゆみこ 訳			7分
1	あかちゃんぐまはおかあさんに問いかける。巣穴をあたたかくしてくれるのはだれ、それはおひさまの黄色。歌っているのはだれ、それは青いカケス。あかちゃんぐまのまわりには、色や光や音に満ちた美しい世界が広がっている。そしてあかちゃんぐまは、夜が来ると安心して母の胸で眠りにつく。	ぐま	
ありとすいか		リプロポート	1990
たむらしげる			3分
2	ある暑い夏の午後、ありがすいかを見つけた。巣に運ぼうと仲間を呼んで来るが、みんなで力を合わせても大きなすいかはびくともしない。そこで小さくして少しずつ運ぶ。残ったすいかの皮はありたちのウォーターシュート。愉快的展開とページいっぱいに広がる色鮮やかなすいかや、たくさんのありの絵を見ているだけでも楽しい。	夏	
アングスとあひる		福音館書店	1974
マージョリー・フラック さく・え 瀬田貞二 やく			5分
3	何でも知りたがりやの子犬のアングスは、庭の生垣の向こうから聞こえてくる声が気になる。ある日家を飛び出し、声の主であるあひると出会う。あひるを散々追い回した後、強烈な反撃にあう。家に逃げ帰ったアングスはしばらく何も知りたくないと思う。話のテンポがよく、交互に白黒とカラーのページになっている。	イヌ	
アンディとらいおん		福音館書店	1961
ジェームズ・ドーハーティ ぶん・え むらおかはなこ やく			8分
4	アンディは図書館でライオンの本を借りる。おじいさんのライオン狩りの話も聞き、アンディの頭の中はライオンのことであらう。翌日アンディは前足にとげのささったライオンと道で会い、とげを抜いてあげる。後日サーカスを見に行ったアンディは、そのライオンと劇的な再会をする。	図書館 ライオン	
いたずらこねこ		福音館書店	1964
バーナディン・クック ぶん レミイ・シャーリップ え まさきるりこ やく			6分
5	こねこが初めてかめを見た。ぼんとたたくと頭がひっこみ、またぼんとたたくと足がひっこみ、こねこはびっくり。二匹は少しずつ近づいてにらみ合い、かめが一足前に進むとこねこが一足下がり、とうとうこねこは池に落ちてしまった。	ネコ	